

科目名 Course Name	経営戦略論Ⅱ Strategic Management Ⅱ			ナンバリング No.	C4-001		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡方法	C-Learningにて対応、オフィスアワー：本館2F(研究室)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	本講義の目的は、以下の能力を身につけることにある。 経営戦略論の基礎的な用語やフレームワークを習得できる。 経営戦略論の理論と企業の事例とを対応させながら考察できる。						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、経営戦略論の知識をベースに自分の頭で考え「問題発見・解決」に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	経営戦略論の基礎的な用語やフレームワークを習得できる。 経営戦略論の理論と企業の事例とを対応させながら考察できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト等の結果は、C-Learningで個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[経営戦略論Ⅱ 2026年度版]”を活用する。/ 沼上幹『わかりやすいマーケティング戦略』、有斐閣アルマ、2008年、1900円(税抜)。 網倉・新宅『マネジメント・テキスト 経営戦略入門』、日本経済新聞出版、2011年、3400円(税抜)。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回180分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ、学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:46年)、実務経験を技術経営戦略の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			10	
レポート/作品	Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。			40	
発表	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。			30	
小テスト	毎時間実施。満点の基準:全ての解答が正解。			20	
試験					
その他					
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。競争戦略論 :資源ベース理論①(資源ベース理論の代表格である VRIO フレームワークを説明)。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	競争戦略論 :資源ベース理論② (資源ベース理論をもとにした様々な理論(コア・コンピタンスやダイナミック・ケイパビリティなどを説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	競争戦略論 :今までの振り返りとまとめ(競争戦略論全体の振り返り、その理論的な位置付けを理解することで知識や考え方の定着を目指す)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	全社戦略論:垂直統合 (企業の事業範囲をどこまで広げるのかについて、市場か組織かについての考察)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	全社戦略論 :多角化戦略① (企業が複数の事業領域を持つこと(多角化)のメリットやデメリットを説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	全社戦略論 :多角化戦略② (企業多角化の種類や企業業績との関係について説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	全社戦略論 :プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント① (多角化経営の分析フレームワークであるプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント(PPM)を説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	全社戦略論:プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント② (プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント(PPM)から得られる戦略的な示唆を考察)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	全社戦略論 :戦略的提携①(企業間提携(アライアンス)の種類と、そのメリット・デメリットを考察)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	全社戦略論:戦略的提携② (戦略的提携の成功を左右する要因について説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	全社戦略論:Merger & Acquisitions(M&A)の戦略 (企業買収や企業統合(M&A)戦略について説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	全社戦略論 :Post-Merger Integration(PMI) (企業買収や企業統合(M&A)後の統合活動について説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	全社戦略論:国際化戦略①(企業が海外に進出する形態について説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	全社戦略論:国際化戦略② (企業が海外に進出した際の本社-子会社間関係について説明)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストの当該 20 頁での質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	全社戦略論 :今までの振り返りとまとめ (全社戦略論全体の振り返り、知識や考え方の定着を目指す)。
	事前・事後学習	上記デジタルテキストでの質問事項等の準備とノートの事後整理学習。